

## 研究についてのご案内（情報公開文）

### 研究課題名

小児がん患児に対する在宅リハビリテーションの実態に関する後方視的診療録調査

### 研究の目的

近年、小児がんの治療成績向上により、在宅療養を行う期間が長期化する方や、病状進行期・終末期を自宅で過ごす方が増えています。在宅療養期においては、医療的管理のみならず、生活や活動、安楽の確保を含めた包括的な支援が求められており、リハビリテーションの果たす役割は重要です。

本研究は、在宅期における小児がん患児へのリハビリテーション支援の実態を、診療録を用いた後方視的調査により整理し、病状の進行に伴って支援内容や関わり方がどのように変化しているのかを明らかにすることを目的としています。この研究により、今後のリハビリテーション支援の改善点を明らかにし、より適切な支援体制の構築に資することを目指します。

### 研究の方法

本研究では、2017年以降に在宅リハビリテーションを受けた小児がん患児を対象に、診療録に記載された情報をもとに調査を行います。新たな検査や介入、追加のご負担が生じることはありません。

調査にあたっては、氏名や住所など、個人を特定できる情報は用いず、匿名化したデータのみを使用します。

### 研究に用いる情報

診療録に記載された以下の情報を使用します。

- ・年齢、性別、診断名
- ・在宅療養期間
- ・病状や生活状況の経過
- ・訪問リハビリテーションの介入内容および頻度
- ・使用された福祉用具等
- ・診療録に記載されたご家族からのご意見やご様子に関する記載内容

### 情報の管理と公表

収集した情報は、研究責任者の管理のもと厳重に取り扱い、個人が特定されることのないよう十分に配慮します。

研究成果は、学会発表や論文等で公表する予定ですが、その際は個別の事例を類型化し、年

年齢は「○歳代」などの範囲表記とするなど、特定につながる記載は行いません。

### 研究への参加について

本研究は、診療録を用いた後方視的調査であり、新たな介入やご負担が生じることはありません。そのため、対象となる方やご家族に対して個別に同意取得は行わず、オプトアウト方式により実施します。本研究の対象となる可能性がある方、またはご家族で、診療情報を研究に使用してほしくない場合には、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合には、該当する情報を研究データから除外いたします。

なお、解析が終了し、データが統合・匿名化された後は、個別の情報を特定して除外することが困難となるため、参加拒否のお申し出に応じられない場合があります。あらかじめご了承ください。

### お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、研究への参加拒否のお申し出は、下記までご連絡ください。

医療法人財団はるたか会

研究代表者：長島 史明（理学療法士）

医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所まつど

〒271-0065

千葉県松戸市南花島 1-12-1

電話番号：047-710-8860

メールアドレス：f-nagashima@harutaka-aozora.org